

2025年度

島根大学大学院人間社会科学研究科

大学院特別履修プログラム  
受講生募集要項

島根大学

大学院人間社会科学研究科

(修士課程)

## 1. プログラムの趣旨・目的

少子高齢化、人口減少、地域コミュニティの存続の危機など、現代社会において解決していくべき課題が多いなか、地域産業や地域社会で活躍する社会人にとって、人間と社会のしくみについて理解を深めることが、以前にも増して重要となってきました。

このため本研究科は、社会人を対象として、専門的な人文・社会系の学問に触れ、理解を深めることができる、参加しやすい学び直しプログラムを開設しました。

本プログラムは、経費負担の少ない短期のノンディグリーコース（学位取得を目的としないコース）です。社会人キャリアステップアップの基礎として、また将来の専門的な学修への入り口としてご活用ください。

## 2. プログラムの概要

本プログラムは、社会人が自身の興味を専門的に学ぶための入口として、社会創成専攻のコース専門科目の一部を履修し、単位を修得することを可能とするものです。各科目は探究テーマごとに分かれており、一つの探究テーマに属する科目のなかから2科目以上を履修することにより、本研究科の理念に立脚しつつ学びを深められます。本プログラムの受講科目のうち2科目4単位以上を修得すると、受講完了証書が交付されます。

なお、本プログラムを修めた後に大学院人間社会科学研究科に入学する場合、本プログラムにおいて修得した単位は、大学院修了のための単位として認定することが可能です。また、本プログラムにより6単位以上を修得し、研究科の入試において優秀な成績を修め、指導教員が認めた者は、短期履修制度（通常2年の修士課程を、最短1年で修了することを可能とする制度）の対象となります。

受講科目の選定にあたっては、応募に際して提出された志願書およびインタビュー（メールもしくは面接による）をもとに、履修生の要望に添う指導教員を島根大学大学院人間社会科学研究科の教員から選任し、履修生の希望を考慮しながら科目の選定を指導します（希望する指導教員がいる場合にはその旨を志願書にお書きください）。受講可能な曜日・時間帯が限られている方については、インタビューの中で受講可能な科目について相談を行います。また、指導教員からは、専門分野の研究について助言を受けることができます。

なお、本プログラムは本学の科目等履修生制度を利用して実施します。

本プログラムで学修できる探究テーマは、次のとおりです。（履修可能な科目は「4. 履修の内容」を見て下さい）

探 究 テ ー マ

公共法務を学ぶ

企業法務を学ぶ

地域社会の持続可能性を経済学から考える

ことばの変化や方言のしくみを考える

古代から現代までの日本文学を読み解く

中国のことばを学ぶ

中国の古典と近現代の文化を探究する

詩と思想を通じてイギリスの文学を学ぶ

小説と批評を通じてアメリカの文学を学ぶ

英語のしくみを学ぶ

小説や映画などの芸術ジャンルを通じてアメリカの文化を学ぶ

フランス語圏の文化や言語について学ぶ

ドイツ語圏の文化や言語について学ぶ

人間の生き方と世界のあり方を根本から考える

造形美術（絵画，彫刻，建築，デザインなど）や写真，映画，メディア論を学ぶ

文化現象とその文脈を考える

人びとが集まって相互作用することによって成り立つ「社会」なるものについて考える

地域の特徴とその価値を探究する

異文化の現在を学ぶ

物質資料にもとづき人類史に迫る方法を学ぶ

日本社会の歴史を学ぶ－史料・実証・叙述の手法－

中国社会を歴史から考える

西洋社会の成立過程を歴史から学ぶ

社会におけるアーカイブズの意義や多様な資料の整理法について考える

人と環境に働きかけるソーシャルワークを中心に福祉を学ぶ

人の心と行動の科学的な法則を実験調査する

幅広い見地から，現在社会で求められる健康増進の手法を探る

社会的側面からメンタルヘルスにアプローチする

### 3. 履修資格

次のすべての資格を満たす人。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 本研究科の理念に立脚しつつ学びを深める意欲を持つこと。
- (3) 社会人経験をもつ 23 歳以上の者（社会人経験には家事従事者を含む）。

ただし、希望する教育内容によっては、指導体制の関係から受け入れられない場合があります。また(1)については、その他本学大学院において当該授業科目を履修する学力があると認められた者の履修を認める場合があります。その場合資格審査が必要です。あらかじめ下の問い合わせ先に確認して下さい。

問い合わせ先：島根大学人間社会科学研究科担当（学生センター）

Tel (0852) 32-6121

Fax (0852) 32-6059

#### 4. 履修の内容

次表の授業科目から、同一年度において2科目以上を選択し履修します。

探究テーマ	科目名
公共法務を学ぶ	憲法特殊講義ⅠA
	憲法特殊講義ⅠB
	憲法特殊講義ⅡA
	憲法特殊講義ⅡB
	行政法特殊講義ⅠA
	行政法特殊講義ⅠB
	行政法特殊講義ⅡA
	行政法特殊講義ⅡB
	政治学特殊講義ⅠA
	政治学特殊講義ⅠB
	政治学特殊講義ⅡA
	政治学特殊講義ⅡB
	行政学特殊講義ⅠA
	行政学特殊講義ⅠB
	行政学特殊講義ⅡA
	行政学特殊講義ⅡB
情報法制論	
企業法務を学ぶ	民法特殊講義ⅠA
	民法特殊講義ⅠB
	民法特殊講義ⅡA
	民法特殊講義ⅡB
	企業法特殊講義ⅠA
	企業法特殊講義ⅠB
	企業法特殊講義ⅡA
	企業法特殊講義ⅡB
	刑事法特殊講義ⅠA
	刑事法特殊講義ⅠB
	刑事法特殊講義ⅡA
	刑事法特殊講義ⅡB
	刑事訴訟法特殊講義ⅠA
	刑事訴訟法特殊講義ⅠB
	刑事訴訟法特殊講義ⅡA

探究テーマ	科目名
	刑事訴訟法特殊講義ⅡB 税財政法特殊講義ⅠA 税財政法特殊講義ⅠB 税財政法特殊講義ⅡA 税財政法特殊講義ⅡB 国際租税法特殊講義A 国際租税法特殊講義B
地域社会の持続可能性を経済学から考える	経済理論特殊講義Ⅰ 経済理論特殊講義Ⅱ 国際経済特殊講義Ⅰ 国際経済特殊講義Ⅱ 財政学特殊講義Ⅰ 経済政策特殊講義Ⅰ 地域経済特殊講義Ⅰ 産業・イノベーション論特殊講義Ⅰ 産業・イノベーション論特殊講義Ⅱ 福祉経済特殊講義Ⅰ 経済理論特別演習 経済政策特別演習 財政学特別演習 国際経済特別演習 産業・イノベーション論特別演習 地域経済特別演習 福祉経済特別演習
ことばの変化や方言のしくみを考える	日本語学特殊講義ⅠA 日本語学特殊講義ⅠB 日本語学特殊講義ⅡA 日本語学特殊講義ⅡB 日本語学特別演習ⅠA 日本語学特別演習ⅠB 日本語学特別演習ⅡA 日本語学特別演習ⅡB
古代から現代までの日本文学を読み解く	日本文学特殊講義ⅠA 日本文学特殊講義ⅠB 日本文学特殊講義ⅡA 日本文学特殊講義ⅡB

探究テーマ	科目名
	日本文学特殊講義ⅢA
	日本文学特殊講義ⅢB
	日本文学特別演習ⅠA
	日本文学特別演習ⅠB
	日本文学特別演習ⅡA
	日本文学特別演習ⅡB
	日本文学特別演習ⅢA
	日本文学特別演習ⅢB
中国のことばを学ぶ	中国語学特別演習A
	中国語学特別演習B
中国の古典と近現代の文化を探究する	中国文学特殊講義ⅠA
	中国文学特殊講義ⅠB
	中国文学特殊講義ⅡA
	中国文学特殊講義ⅡB
	中国文学特別演習A
	中国文学特別演習B
詩と思想を通じてイギリスの文学を学ぶ	イギリス文学特殊講義A
	イギリス文学特殊講義B
	イギリス文学特別演習A
	イギリス文学特別演習B
小説と批評を通じてアメリカの文学を学ぶ	アメリカ文学特殊講義A
	アメリカ文学特殊講義B
	アメリカ文学特別演習A
	アメリカ文学特別演習B
英語のしくみを学ぶ	英語学特殊講義ⅠA
	英語学特殊講義ⅠB
	英語学特殊講義ⅡA
	英語学特殊講義ⅡB
	英語学特別演習A
	英語学特別演習B
小説や映画などの芸術ジャンルを通じてアメリカの文化を学ぶ	アメリカ文化特殊講義A
	アメリカ文化特殊講義B
	アメリカ文化特別演習A
	アメリカ文化特別演習B
フランス語圏の文化や言語について学ぶ	フランス文化特殊講義A
	フランス文化特殊講義B

探究テーマ	科目名
	フランス文化特別演習A
	フランス文化特別演習B
ドイツ語圏の文化や言語について学ぶ	ドイツ文化特殊講義A
	ドイツ文化特殊講義B
	ドイツ文化特別演習A
	ドイツ文化特別演習B
人間の生き方と世界のあり方を根本から考える	哲学特殊講義 I A
	哲学特殊講義 I B
	哲学特殊講義 II A
	哲学特殊講義 II B
	哲学特別演習 I A
	哲学特別演習 I B
	哲学特別演習 II A
	哲学特別演習 II B
造形美術（絵画，彫刻，建築，デザインなど） や写真，映画，メディア論を学ぶ	芸術学特殊講義 I A
	芸術学特殊講義 I B
	芸術学特殊講義 II A
	芸術学特殊講義 II B
	芸術学特別演習 I A
	芸術学特別演習 I B
	芸術学特別演習 II A
	芸術学特別演習 II B
文化現象とその文脈を考える	文化交流論特殊講義 I A
	文化交流論特殊講義 I B
	文化交流論特殊講義 II A
	文化交流論特殊講義 II B
	文化交流論特別演習 I A
	文化交流論特別演習 I B
	文化交流論特別演習 II A
	文化交流論特別演習 II B
人びとが集まって相互作用することによって成り立つ「社会」なるものについて考える	社会学特殊講義A
	社会学特殊講義B
	社会学特別演習 I A
	社会学特別演習 I B
	社会学特別演習 II A
	社会学特別演習 II B

探究テーマ	科目名
	社会学特別演習ⅢA
	社会学特別演習ⅢB
地域の特徴とその価値を探究する	地理学特殊講義Ⅰ
	地理学特殊講義ⅡA
	地理学特殊講義ⅡB
	地理学特別演習A
	地理学特別演習B
	地理情報システム特別実習
異文化の現在を学ぶ	文化人類学特殊講義ⅠA
	文化人類学特殊講義ⅠB
	文化人類学特別演習A
	文化人類学特別演習B
物質資料にもとづき人類史に迫る方法を学ぶ	考古学特殊講義Ⅰ
	考古学特殊講義Ⅱ
	考古学特殊講義Ⅲ
	考古学特殊講義Ⅳ
	考古学特別実習
	考古学特別演習Ⅰ
	考古学特別演習Ⅱ
	考古学特別演習Ⅲ
	考古学特別演習Ⅳ
日本社会の歴史を学ぶ－史料・実証・叙述の手法－	日本史学特殊講義Ⅰ-1
	日本史学特殊講義Ⅰ-2
	日本史学特殊講義Ⅱ-1
	日本史学特殊講義Ⅱ-2
	日本史学特殊講義Ⅲ-1
	日本史学特殊講義Ⅲ-2
	日本史学特別演習ⅠA-1
	日本史学特別演習ⅠA-2
	日本史学特別演習ⅠB-1
	日本史学特別演習ⅠB-2
	日本史学特別演習ⅡA-1
	日本史学特別演習ⅡA-2
	日本史学特別演習ⅡB-1
	日本史学特別演習ⅡB-2
	日本史学特別演習ⅢA-1

探究テーマ	科目名
	日本史学特別演習ⅢA-2
	日本史学特別演習ⅢB-1
	日本史学特別演習ⅢB-2
中国社会を歴史から考える	東洋史学特殊講義Ⅰ-1
	東洋史学特殊講義Ⅰ-2
	東洋史学特殊講義Ⅱ-1
	東洋史学特殊講義Ⅱ-2
	東洋史学特別演習ⅠA-1
	東洋史学特別演習ⅠA-2
	東洋史学特別演習ⅠB-1
	東洋史学特別演習ⅠB-2
	東洋史学特別演習ⅡA-1
	東洋史学特別演習ⅡA-2
西洋社会の成立過程を歴史から学ぶ	西洋史学特殊講義Ⅰ-1
	西洋史学特殊講義Ⅰ-2
	西洋史学特別演習ⅠA-1
	西洋史学特別演習ⅠA-2
	西洋史学特別演習ⅠB-1
	西洋史学特別演習ⅠB-2
	西洋史学特別演習ⅡA-1
	西洋史学特別演習ⅡA-2
社会におけるアーカイブズの意義や多様な資料の整理法について考える	記録史料学特殊講義Ⅰ
	記録史料学特殊講義Ⅱ
	アーカイブズ管理論特殊講義Ⅰ
	アーカイブズ管理論特殊講義Ⅱ
	アーカイブズ学理論特殊講義Ⅰ
	アーカイブズ学理論特殊講義Ⅱ
	アーカイブズ学特殊講義
	アーカイブズ学特別演習A
	アーカイブズ学特別演習B
	アーカイブズ学特別実習
	資料保存論
人と環境に働きかけるソーシャルワークを中心に福祉を学ぶ	社会福祉学特殊講義Ⅰ
	社会福祉学特殊講義Ⅱ
	社会福祉学特殊講義Ⅲ
	社会福祉学特殊講義Ⅳ

探究テーマ	科目名
	社会福祉学特殊講義Ⅴ
	社会福祉学特殊講義Ⅵ
	社会福祉学特別演習ⅠA
	社会福祉学特別演習ⅠB
	社会福祉学特別演習ⅡA
	社会福祉学特別演習ⅡB
	社会福祉学特別演習ⅢA
	社会福祉学特別演習ⅢB
	社会福祉学特別演習ⅣA
	社会福祉学特別演習ⅣB
	社会福祉学特別演習ⅤA
	社会福祉学特別演習ⅤB
	社会福祉学特別演習ⅥA 社会福祉学特別演習ⅥB
人の心と行動の科学的な法則を実験調査する	心理学特論Ⅰ 心理学特論Ⅱ 心理学特別演習ⅠA 心理学特別演習ⅠB 心理学特別演習ⅡA 心理学特別演習ⅡB
幅広い見地から、現在社会で求められる健康増進の手法を探る	健康科学特論Ⅰ 健康科学特論Ⅱ 健康科学特別演習ⅠA 健康科学特別演習ⅠB 健康科学特別演習ⅡA 健康科学特別演習ⅡB
社会的側面からメンタルヘルスにアプローチする	健康科学特論Ⅱ 精神保健学特別演習ⅠA 精神保健学特別演習ⅠB 精神保健学特別演習ⅡA 精神保健学特別演習ⅡB

## 5. 入学時期及び履修期間

入学時期は4月又は10月です。それぞれの授業科目は半期のものがほとんどですが、通年のものもありますので、シラバス等でご確認ください。また、本プログラムは年度単位で実施していますので、翌年度も引き続き本研究科の科目を履修したい場合はあらためて申請する必要があります。

## 6. 受講料

1単位につき14,800円。また入学料28,200円が必要です(いずれも2024年度額。入学料は改定される場合があります)。

合格者には、後日、受講料納付手続きに関する文書をお送りします。

## 7. 申請手続

### (1) 申請方法

本プログラムは、科目等履修生の制度を利用していますので、志願者は本プログラムの申請書類(3)に加えて、科目等履修生の募集要項で定められている申請書類(4)も合わせて提出する必要があります。

志願者は、(3)(4)の申請書類等を取りそろえて(5)に提出してください。郵送する場合は、「簡易書留」郵便とし、封筒に「人間社会科学研究科大学院特別履修プログラム申請書類在中」と朱書きしてください。

### (2) 申請期間

4月入学：2025年1月31日(金)～2月21日(金) 17時(必着)

10月入学：2025年8月1日(金)～8月22日(金) 17時(必着)

### (3) 本プログラムの申請書類等

提出書類等	摘要
① 志願書	本研究科所定の用紙を使用し作成したもの
② その他	その他研究科が必要と認める書類を求める場合があります。

### (4) 科目等履修生の申請書類等

島根大学ホームページに掲載されている島根大学科目等履修生の募集要項をよく読んで書類を作成して下さい。

[https://www.shimane-u.ac.jp/social-contributions/lifelong\\_study/part\\_time\\_student/part\\_time\\_student02.html](https://www.shimane-u.ac.jp/social-contributions/lifelong_study/part_time_student/part_time_student02.html)

出願書類等	摘 要				
① 入学願書	<p>本学所定の用紙により、授業担当教員と面談し、認印を受けたもの（別紙様式第1号）</p> <p>※本プログラムに応募する場合に限り、①入学願書の「科目等履修生を志願する理由」欄は記入不要です。また、科目等履修生の募集要項には、「なお、書類提出までに履修したい科目を決め、その授業担当教員の内諾を得ておくことが必要です。」とありますが、本プログラムに応募する場合は内諾を得る必要はありません。履修したい科目が決まっていない場合は、「履修を希望する授業科目」欄に「未定」とお書き下さい。履修したい科目が決まっている場合は科目名をお書き下さい（担当教員の認印は不要です）。</p>				
② 履歴書	<p>本学所定の用紙により、必要事項を記入したもの（学歴欄は高等学校又は中等教育学校卒業から記入すること。）</p>				
③ 卒業(見込)証明書又は修了(見込)証明書	<p>出身大学の学長・学部長・研究科長等又は出身学校長が発行したもの（高等学校又は中等教育学校の在学者は不要）</p>				
④ 入学検定料振込金証明書	<p>「2025年度島根大学『入学検定料』振込依頼書等用紙」の所定欄に必要事項を記入し、銀行・信用金庫・農協等の金融機関（※1）で、下記の取扱期間中に同用紙により<u>入学検定料9,800円</u>を振り込んでください。ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。振込手続後、窓口で返却された「Ⅲ票 振込金証明書（島根大学提出用）」を提出してください。</p> <p>※1 ゆうちょ銀行・郵便局を利用する場合は「通帳及び印鑑」が必要です。現金による振込はできません。</p> <p><b>【入学検定料振込取扱期間】</b></p> <table border="1" data-bbox="497 1599 1318 1825"> <tbody> <tr> <td data-bbox="497 1599 769 1711">4月入学希望者</td> <td data-bbox="769 1599 1318 1711">2025年1月31日(金)から出願期限日の窓口取扱時間内（15時）まで*</td> </tr> <tr> <td data-bbox="497 1711 769 1825">10月入学希望者</td> <td data-bbox="769 1711 1318 1825">2025年8月1日(金)から出願期限日の窓口取扱時間内（15時）まで*</td> </tr> </tbody> </table> <p>※7. 申請手続（2）申請期間中に振り込んでください。</p> <p>なお、以下の場合以外は、納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還することができません。</p>	4月入学希望者	2025年1月31日(金)から出願期限日の窓口取扱時間内（15時）まで*	10月入学希望者	2025年8月1日(金)から出願期限日の窓口取扱時間内（15時）まで*
4月入学希望者	2025年1月31日(金)から出願期限日の窓口取扱時間内（15時）まで*				
10月入学希望者	2025年8月1日(金)から出願期限日の窓口取扱時間内（15時）まで*				

		<p>a. 出願書類等を提出したが、受理されなかった場合  該当者に連絡しますので、所定の期日までに手続を行ってください。</p> <p>b. 入学検定料の振込後、本学に出願しなかった場合</p> <p>c. 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>上記 b 又は c に該当する場合は、本人の申し出により納入された入学検定料を返還することができますので、4月入学については2025年3月7日(金)、10月入学については2025年9月5日(金)までに財務部経理・調達課出納担当(TEL 0852-32-6029)(土日祝日を除く9時から17時までの間)へ連絡してください。なお、返還の手続を行う際に「Ⅱ票振込金受取書(志願者保管)」及び「Ⅲ票振込金証明書(島根大学提出用)」が必要となりますので、大切に保管しておいてください。これらの書類がない場合、振込事実の確認ができず、返還できないことがあります。</p>
⑤	承諾書等	<p>※現職教育のため任命権者の命により派遣される教職員の方のみ必要  本学所定の用紙により、任命権者が作成した「証明書」(別紙様式第3号)</p> <p>※現職のまま入学を希望する社会人で、上記に該当しない方のみ必要  本学所定の用紙により、勤務先等の所属長が作成した「承諾書」(別紙様式第2号)</p>
⑥	誓約書	本学所定の用紙により、必要事項を記入したもの

#### (5) 申請書類提出先

〒 690-8504 島根県松江市西川津町1060

島根大学人間社会科学研究科担当(学生センター)

#### 8. 選考方法

志願者の提出書類およびインタビュー(メールもしくは面接等による)をもとに、専門性または実務経験などから判断して選考します。

コースの選択及び履修科目の選定にあたっては、応募に際して提出された志願書をもとに、履修生の要望に添う指導教員を島根大学大学院人間社会科学研究科から選任し、履修生の希望を考慮しながら履修する科目の選定を指導します。また、指導教員からは、専門分野の研究について助言を受けることができます。

## 9. 選考結果の通知

- (1) 選考の結果は、4月から履修する場合は3月中旬、10月から履修する場合は9月中旬に本人宛文書にて通知します。
- (2) 選考に合格した者は、合格通知により指定された期日までに、入学料を納入の上、手続きを行ってください。
- (3) 入学料は、28,200円（2024年度額。入学料は改定される場合があります。）です。
- (4) 所定の手続きを完了した者に本プログラムの受講を許可します。

## 10. 単位の認定

本プログラムにおける科目の履修は、本学の科目等履修生制度を準用しますので、修得した単位は、本学大学院に入学した場合に既修得単位の認定の対象になります。既修得単位認定希望者は大学院入学時に申請を行ってください。

## 11. 受講上の注意

- (1) 授業によっては、教科書等の教材購入費が別途かかる場合があります。シラバス及び担当教員の指示に従ってください。
- (2) 図書館施設の利用、図書の見学・貸出等が可能です。
- (3) この要項に記載のない事項については、島根大学科目等履修生募集要項を参照してください。

## 12. 問合せ先

島根大学人間社会科学部研究科担当（学生センター）

Tel (0852) 32-6121

Fax (0852) 32-6059

E-mail [hs-gakumu@office.shimane-u.ac.jp](mailto:hs-gakumu@office.shimane-u.ac.jp)

### 個人情報の取扱い

提出された書類の氏名、住所等の個人情報については、履修者の選考、申請者への連絡のほか、教務修学事務関係、教育・研究活動関係等の業務を行うためにのみ利用します。他の目的に利用し、又は提供することはありません。